

第 201 回  
定例探鳥会

日時：2003 年 9 月 14 日 (日) 天候：晴れ  
コース：高来神社 大堂 浅間山

今朝は夏が戻ってきたような朝です。先月よりもセミの鳴き声も多いような気がします。鳥の鳴き声は少なく、数もあまり見えません。この中で先月から話題になっていたのがヒヨドリでした。今日も少ないというよりほとんどいないという感じです。鷹取山などのカウント調査でも同じような状態のようです。ヒヨドリは本来、冬鳥ですから渡っているのですが、今年は7月頃までいたヒヨドリが渡ってしまい、北方から渡ってくるヒヨドリの到来が少し遅れているのか？などヒヨドリ談義に花が咲きました。ワシタカやアオバトと違い地味な鳥ですが、この渡りについてはかなり面白そうです。アオバトは集合場所で7羽の群れ、大堂では1羽がすぐ上空を通過していきました。暑い山の中を歩いてくると大堂の涼しい木陰が気持ちよく、上空にはツバメ、イワツバメ、ヒメアマツバメ、アマツバメの飛行の達人たちが舞い楽しませてくれました。

定例探鳥会が8月で200回目、16年8ヶ月。この会報も10月号で第200号、あっという間の出来事でした。おかげさまで楽しく続けることが出来ました。高麗山の自然も当初より変わってきましたが、定例の初心「初心者大切に」は変わっていないと思っているのですが、どうでしょうか？そんな訳で定例探鳥会は当初からあまりレベルを上げないように意識してきた面もあり、それは少し不満に思う方もあったかもしれませんね。

こまたんでは定例探鳥会は初心者重点、定例カウント調査はもっと鳥を知りたい方、アオバト探検隊は深く深くアオバトを調査研究したい方に、1回でも参加すればすべてこまたんの会員という「こまたん」ルール、すべて門戸を開けています。

この機会に定例探鳥会とプラスもう一つやりませんか！！楽しいですよ

参加者		参加人数 30 名 (敬称略)		
1. 下倉 紘一	2. 鈴木 逸子	3. 八木 正	4. 荒川 計三	5. 上野 尚博
6. 山田 文則	7. 瀬尾 隆	8. 形部 正	9. 国友 昭男	10. 中島 健次
11. 伊藤 武雄	12. 古賀 勝秋	13. 沢田 興三	14. 森田 義雄	15. 吉田 敬一
16. 紺 龍彦	17. 山下 勝司	18. 木田 ハマ	19. 松下 弓子	20. 南 那津子
21. 松本 鈴子	22. 吉尾 孝	23. 清水 哲子	24. 渡瀬 孝夫	25. (田端 裕)
26. (西ヶ谷修一)	27. (岩佐 昌夫)	28. (内山規矩雄)	29. (金子 典芳)	30. (斎藤常實)

見聞きした鳥		種類数 18 種 (ドバトを含む)		
1. トビ	2. 小型シギSP	3. キジバト	4. アオバト	5. ドバト
6. ヒメアマツバメ	7. アマツバメ	8. コゲラ	9. ツバメ	10. イワツバメ
11. ヒヨドリ	12. ヤマガラ	13. シジュウカラ	14. メジロ	15. カワラヒワ
16. スズメ	17. ムクドリ	18. ハシブトガラス		

## 高麗山定例探鳥会200回記念展示会 - 鳥を楽しむ2003 -

本紙・会報「緑鳩(あおばと)」は、本号(2003年10月号)で第200号となりました。定例探鳥会の方は一足先に今年の8月で第200回目を迎えました。こまたんではこれを記念して10月2日(木)から7日(火)までの6日間、平塚市紅谷町の「ひらつか市民プラザ」で展示会を行いました。”～鳥を楽しむ2003～”というサブテーマのとおり、展示する方も見に来てくださる方も楽しめる内容を盛り込みました。

定例探鳥会でも参加者の皆さんから展示物を募集したりして8月のなかば頃から準備にとりかかり、9月には3回の集中作業日も設けました。今年5月に「ひらつか市民活動センター」が開設されたため、打ち合わせや作業に非常に便利に利用させていただきました。みんなでアイデアや意見を出し合いながらの準備作業も楽しみの一つです。

ここで展示物の内容をご紹介します( )は担当者です...敬称略。

定例探鳥会関係: 200回の積み重ねがおもしろいデータになりました

定例探鳥会の歩み(200回の記録の集計、会報全号の展示、探鳥会風景の写真)

高麗山関係: 高麗山の自然を写真とイラストで紹介

高麗山の四季(高麗山で観察される鳥...西ケ谷、蝶...福田、花...西ケ谷、金子)、花の色見本・花遊び(松下)、高麗山の風景の四季の移り変わりを写真で紹介(西ケ谷)、高麗山の地図(定例探鳥会のコースを示す)

こまたんの活動紹介: こまたんもデジタル化されています

アオバトの映像コーナー(DVD...下倉)、パソコンを使った”こまたんホームページ”の紹介(大坂)

参加者の研究・観察発表: 研究・観察の成果の発表の場です

西部丘陵鳥類調査(こまたん)、丹沢アオバト繁殖調査(こまたん)、ムクドリのおねぐら(山田)、里山公園におけるホオジロ類の季節変化(白田)、平塚市の鳥・しらさぎ(金子)、水辺の楽校とその周辺の鳥(竹沢、石井)

参加者による出展作品: 多彩な技を持った方がたくさんいらっしゃいます

鳥の名のつく花(八木)、鳥の名のつく貝(南)、アオバトのぬいぐるみ...サワグルミにとまるアオバト(鈴木)、バードカービング(吉田)、鳥の紙アート(山下)、草の実のリース(清水)、葉彩画(竹沢)、ぐうぜんの出会い in 平塚(鳥の写真...竹沢)

お楽しみコーナー: 子どもたちと一緒に遊びましょう!

この羽なんだ?(金子)、ミニチュアの鳥を作ってみよう(紙アート...山下)、鳥のおはなし(本の読み聞かせ...石井)

こまたんがこの会場で展示会を開くのは3回目です。合同開催も合わせると4回目になります。初めはすべてが手作りで、大きな模造紙にマジックインキで字を書いたり、絵の具や色鉛筆を使って絵を描いたものです。今回はパソコン、デジカメ、スキャナ、コピー機が大活躍で、時代の変化を感じました。一番人が集まったのは紙粘土で作られた3~4cmくらいのミニチュアの鳥に絵の具で彩色するコーナーでした。子供たちから大人まで、山下さんの親切な指導を受けながら、白色の鳥に色を塗っていきます。図鑑を見ながらアオバトを写実的に仕上げる人、自由な発想で黄、赤、緑、青色に塗る子供たち、そばで見ている楽しさが伝わってきました。山下さんの展示した紙アートも多くの方の興味を引いていました。





アオバトの映像コーナーも椅子に座ってじっくりと見てい  
る方が多かったです。今まで多くの局の取材を受け、実際  
に放映されたビデオを DVD に納めました。ビデオテー  
プで見るよりもずっと鮮明な映像でした。またアオバトファン  
が増えたようです。

定例探鳥会 200 回の記録は、いろいろな鳥の経年変化を  
グラフで表したり、参加者数や観察された種類数をグラフ  
で表したものを展示しました。チョッとマニアックなものとな

り、一般の人には面白くないようでしたが、鳥に興味を持っている人たちからは感心してもらえました。  
そのほかの展示にも多くの方が集まりました。研究・観察の発表で熱心に質問する人、バードカーペン  
グの精密さに驚く人、葉彩画の材料が木の葉と聞いてビックリする人、花の写真は女性の方に人気  
がありました。朝日新聞、読売新聞や神奈川新聞も取材に来ました。5 日の日曜日には大蔵律子平塚市  
長も会場に来てくださいました。市長は定例探鳥会や市民探鳥会にも来たことがあり、こまたんとは古  
くからのお付き合いがあります。なつかしい顔にあえて楽しかったとの感想をいただきました。

初日から 100 人を越える入場者があり、5 日間の入場者の総数は 1,098 名でした。前回 2000 年の展  
示会の時には 800 名でしたので、大幅に記録を更新しました。

会場にこられた方からは、おほめの言葉、質問、提案、希望など、多くの感想をいただきました。また、定  
例探鳥会にぜひ参加してみたいという声もたくさん聞かれました。これを参考に、励みにして定例探  
鳥会をより親しみやすいものにしていきたいと思います。もちろん「初心者を大切に…」の精神は変わ  
りません。次の展示会は 8 年後の 300 回記念展示かな？

## 定例探鳥会 200 回の記録

月に一度の定例探鳥会ですが 200 回、16 年間も続けると、多くの記録が残されています。その一部を  
紹介します。

参加者数 :	延べ参加者数	5,713 名
	平均数	29 名
	最大	55 名 (1993 年 4 月)
	最小	3 名 (1987 年 11 月)

観察された鳥の種類数 :	観察種類数	143 種
	平均数	26 種
	最大	43 種 (1989 年 2 月、1994 年 2 月)
	最小	8 種 (1992 年 8 月)

よく見られた鳥 - Top 20 ( ) は出現頻度 %

1. ヒヨドリ(98.9)	1. スズメ(98.9)	3. メジロ(97.8)	3. ハシトガラス(97.8)
3. シジュウカラ(97.8)	6. キジバト(96.2)	7. コゲラ(95.7)	8. ハシホリガラス(92.4)
9. ヤマガラ(88.0)	10. アオゲラ(77.7)	11. カワラヒワ(76.6)	12. トビ(73.4)
13. ムクドリ(70.1)	14. ウグイス(62.5)	15. ヒメアマツバメ(55.4)	16. エナガ(52.2)
16. アオジ(52.2)	18. モズ(51.1)	19. ツバメ(49.5)	20. アオバト(48.9)

## 第 2 回 BINOS 研究発表会

日本野鳥の会神奈川支部研究年報『BINOS』10号に掲載されるテーマを中心に、研究発表会を開催します。普段なかなか見ることのできない繁殖期のアオバトやノスリのビデオ上映もあります。当日、BINOS 10号の販売(1,200円)も致します。ぜひお出かけください。

日 時 : 10月18日(土) 13:40~16:30 入場無料

会 場 : 横浜ランドマークタワー 13F「フォーラムよこはま」会議室 1  
JR、東急東横線、横浜市営地下鉄「桜木町」から徒歩7分

- 内 容 : (1)「丹沢山地堂平におけるアオバト繁殖調査」こまたん  
(2)「台湾リスに樹皮をかじられた木が枯死する割合」藤田 薫  
(3)「カラスの集団ねぐらへの飛翔高度について」畠山 義彦  
(4)「藤沢市川名清水谷戸の鳥類群集の変化」石川 祐一  
(5)「繁殖期のノスリの餌」吉田 嗣郎  
(6)「相模川のコアジサシの繁殖」北条 文彦  
(7)「神奈川県におけるカラス類の集団ねぐらの変遷」浜口 哲一

### 【お知らせ】

#### 大磯・宿場まつり

日 時 : 11月2日(日) 10時~15時 場 所 : 大磯町山王町旧東海道松並木  
旧東海道松並木から化粧坂にかけて街道市、名産市、街道茶屋、花魁道中、旅装束コンテストなど  
様々な催しが行われます。こまたんも「あおぼとや」を出店します。

#### 大磯・文化祭

日 時 : 11月8日(土)~10日(月) 10時~19時(初日は11時開場、最終日は18時終了)  
場 所 : 大磯 滄浪閣 バンケットホール

#### 定例カウント調査 ... 注意:日程変更、集合時間変更!!

吉沢 & 土屋 11月1日(土) ... 第一土曜日

鷹取山 11月15日(日) ... 第三日曜日

第二日曜日の8日は大磯文化祭と重なりますので、**第三日曜日に変更します。**

今月から集合時間が**午前7時に変わります。**高麗ハイツとなりの駐車場(青空市場)に集合です。  
午前中に解散。雨天中止

連絡先 : 岩佐 昌夫 0463-55-6142 内山 規矩雄 0463-33-4322 金子 典芳 0463-32-5583

次回の定例探鳥会は2003年11月9日(日)です。午前7時30分 高来神社に集合。

緑鳩(アオバト) 第200号 / 10月号 発行所:こまたん

斎藤 常實 0467-51-3543

岩佐 昌夫 0463-55-6142

こまたんホームページアドレス <http://www2u.biglobe.ne.jp/komatan/>  
日本野鳥の会神奈川支部ホームページ <http://www.mmj.or.jp/wbsj-k/>